授業科目名	実習カット１			開講年度	令和5年度
担当教員	中条　政彦				
授業科目区分	必修	授業形態	実習	単位数	1単位
対象学年	1学年		開講学期	1学期	
履修条件	特になし		教員の実務経験の有無	有（4年以上）	
教科書・教材	カット道具一式				

授業の到達目標
シザーズの正しい開閉を理解する
シザーズ開閉速度を上げる
シザーズとコームの運行に慣れる
正しい姿勢と立ち位置を理解する
骨格に対する引き出し方と角度を理解する
セニングシザーズを使い　刈り上げの反復練習を行い開閉と速度を確実なものにする
シザーズを使い　刈り上げと直鋏を使うことにより　鋏と櫛を容易に操作できるようになる

授業概要
カットの基礎技術を丁寧に学ぶことにより、理美容師としての第一歩をかくじつなものと　する。正しい姿勢と開閉を刈上げを通して学ぶことにより、今後のスタイルカットや国家試験　課題に対し適応する技術力を身につける。

回	授業内容	
	授業内容	到達目標
①	シザーズの持ち方と開閉の仕方	シザーズの持ち方と開閉を理解する
②	基本の立ち位置と正しい姿勢	正しいカット姿勢を理解する
③	開閉練習	連続して開閉ができる
④	髪を切る感覚を覚える	新聞紙を細かく切る事が出来るようになる
⑤	引き出し角度を覚える	骨格を理解し90度で引き出す
⑥	ガイドラインに沿って切ることを覚える	7ｃｍのガイドに合わせる事が出来る
⑦	縦スライスでのカットを覚える	アンダーセクションの切り方を理解する
⑧	胸の前でのカット技法を覚える	ミドルセクションの切り方を理解する
⑨	引き上げてのカット技法を覚える	オーバーセクションの切り方を理解する
⑩	横スライスでのカット技法を覚える	チェックカットを理解する
⑪	セニングシザーズを使い連続刈り	セニングシザーズの特性を理解する
⑫	シザーズを使い連続刈りでの開閉練習	シザーズで連続刈りが出来るようになる
⑬	ウイッグ①を使い練習	今までの工程を理解し　出来るようになる
⑭	ウイッグ②を使い練習	繰り返し今までの工程を理解し出来るようになる
⑮	ウイッグ③を使い	繰り返し今までの工程を理解し出来るようになる
期末試験		

成績評価	確認テストを行い　点数評価する
履修上の注意	無し
その他	

授業科目名	実習カット			開講年度	令和5年度
担当教員	中条　政彦　・　金谷　健興　・　中濱　美智子				
授業科目区分	必修	授業形態	実習	単位数	5単位
対象学年	1学年		開講学期	1学期～3学期	
履修条件	特になし		教員の実務経験の有無	有（4年以上）	
教科書・教材	理容技術理論１　理容実習１　カット道具一式				

授業の到達目標
①固定刈り・連続刈り・すくい刈り・指間刈りを正しく覚える
②ベーシックカット(ミディアム・ハーフロング・スクエアカット・ブロースカット)を覚える
③ボンバージュセットを覚え　ドライヤーの使い方を理解する

授業概要
カットとセットの基礎技術を丁寧にしっかり学ぶことにより、理容師としての第一歩を確実なものとすることを目標とする。

回	授業内容	
	授業内容	目標
①～④	鋏の正しい持ち方	開閉の正確さを目指す
⑤～⑦	正しいしい姿勢	正しい姿勢で疲れない体をつくる
⑧⑨	指間刈りを覚える	廃棄ウイッグでスクエアカットができる
⑩⑪	すくい刈りを覚える	廃棄ウイッグの裾をすくい刈りでカットできる
⑫⑬	連続刈りを覚える	廃棄ウイッグの後頭下部を連続刈りでカットできる
⑭⑮	固定刈りを覚える	廃棄ウイッグのネックラインを固定刈りできる
⑯⑰	固定刈り・連続刈り・すくい刈りの一連の動作を覚える	一体となった形でカットできる
⑱～㊿	ベーシックカットを理解する	ミディアム・ハーフロング・ブロースをカットできる
51～75	ヘアセットを理解する	ボンバージュセットができる
	各項目ごとに実技試験	60点以上で合格

成績評価	学期末実技テスト並びに確認テストで成績評価する
履修上の注意	メモをとる事を必須とする
その他	

授業科目名	実習シャンプーブロー			開講年度	令和5年度
担当教員	中条　政彦　・　金谷　健興　・　中濱　美智子				
授業科目区分	必修	授業形態	実習	単位数	3単位
対象学年	1学年		開講学期	1学期～3学期	
履修条件	特になし		教員の実務経験の有無	有（4年以上）	
教科書・教材	理容技術理論１・理容実習				

授業の到達目標
①基本的な運行順序とブローテクニックを覚える
②触感技術としての相手に与える快適性を理解する
③シェービング⇨シャンプー⇨ブローの連動性を覚え　時間を支配し確実性を上げる

授業概要
触感技術として大切なシャンプー・マッサージを理解し、サロンワークの根本であるシェービング⇨シャンプー⇨ブローを正確にする。時間を支配し行えるようにすることで、卒業後に即戦力として活躍できスタイリストへの早道となる。

回	授業内容	
	授業内容	目標
①～④	ウイッグを使いハンドブローを覚える	ハンドブローで毛髪の乾く感覚を覚える
⑤～⑧	ウイッグを使いブラシでブローする	デンマンブラシを使い印ブローを覚える
⑨～⑩	ウイッグを使いプレーンリンスを行う	プレーンリンスの仕方を覚える
⑪～⑫	シャンプーを塗布しマッサージを行う	手の動かし方と手首の動かし方を覚える
⑬～	タオルとシャンプークロスを付ける	相モデルでタオルやクロスを的確に装着させる
	バック(サイド)シャンプーを行う①	手と手首の動かし方が適正か
	バック(サイド)シャンプーを行う②	ワンシャンプーの運行順序を覚える
	バック(サイド)シャンプーを行う③	ツーシャンプーの運行順序を覚える
	バック(サイド)シャンプーを行う④	コンディショナーを塗布しマッサージを行う
	バック(サイド)シャンプーを行う⑤	髪をブローしセットを行う
～㉚	バック(サイド)シャンプーを行う⑥	シャンプーセットで20分以内を目指す
㉛～	セットメニュー①	シェービング⇨シャンプー⇨ブローで40分以内を目指す
～㊺	セットメニュー②	セットメニューを行いながら洗濯等の雑用をこなす
期末試験		60点以上で合格

成績評価	学期末技術テスト並びに確認テストで成績評価をする
履修上の注意	メモをとる事を必須とする
その他	

授業科目名	実習セービング			開講年度	
担当教員	中条　政彦　・　金谷　健興　・　中濱　美智子				
授業科目区分	必修	授業形態	実習	単位数	3単位
対象学年	1学年		開講学期	1学期～3学期	
履修条件	特になし		教員の実務経験の有無	有（4年以上）	
教科書・教材	理容技術理論１・２　　理容時実習２				

授業の到達目標
①基本的なうんこいう順序とハンドリングを覚える
②触感技術としての相手に与える快適性を理解する・
③シェービング⇨シャンプー⇨ブローの連動性を覚え、時間を支配し確実性を上げる。

授業概要
触感技術として大切なシェービングを理解することは、サロンワークの根本である シェービング⇨シャンプー⇨ブローを正確にする。また　時間を支配することで　　卒 業後に即戦力として活躍できスタイリストへの早道となる。

回	授業内容	
	授業内容	目標
①	正しい姿勢の取り方	重心を安定させ　疲れない体をつくる
②	レザーの持ち方	フリー・バック・プッシュハンドが正しく持てる
③	てん包法・密着法・清拭法	正しい姿勢順序で無駄なく顔全体を拭き取る
④～⑤	乳液塗布・マッサージ	正しい姿勢・運行順序で行う
⑥～⑧	クリーム拭き取り	タオルを正確に扱い余分な乳液を拭き取る
⑨～	ワンスシェービングの運行順序	立体的に運行順序を覚える
	ワンスシェービング①	フリーハンドの使い方を覚える
	ワンスシェービング②	バックハンドの使い方を覚える
	ワンスシェービング③	プッシュハンドの使い方を覚える
～⑭	ワンスシェービング④	ペンシルハンドの使い方を覚える
⑮	ネックシェービングを覚える	ネックシェービングの運行順序・剃り方を覚える
⑯～	レザーと添え手の関係を理解する	相モデルで実習を行う
	替刃を装着してシェービングを行う	損傷させることなくワンスシェービングが行える
～㉞	トワイスシェービングを理解する	添え手と刃の入れ方を理解する
㉟～㊺	時間を支配しトワイスシェービングまで行う	全ての工程を20分以内で完結する

成績評価	学期末実技テストで成績評価をする
履修上の注意	メモをとる事を必須とする
その他	

授業科目名	実習パーマ			開講年度	令和5年度
担当教員	中条　政彦　・　金谷　健興　・　中濱　美智子				
授業科目区分	必修	授業形態	実習	単位数	2単位
対象学年	1学年		開講学期	1学期～3学期	
履修条件	特になし		教員の実務経験の有無	有（4年以上）	
教科書・教材	理容技術理論１　理容実習１				

授業の到達目標
①基本的な配列(バックスタイル)を覚え時間内に巻けるようにする
②異なる配列・サロンスタイルで使われる巻き方を覚え応用力をつける
③アイロンパーマを覚え理容師独特のパーマスタイルをつくる

授業概要
ロッド巻きは　基本的な配列(オールバックスタイル)からレンガ巻き、サロンで使用されているスパイラルなど様々な巻き方を覚え、実際薬液を使用しかけることにより　卒業後の多様なサロンスタイルに対応できるようになる。また、アイロンパーマを覚えることにより理容独自のパーマスタイルに対応できるようになる。

回	授業内容	
	事業内容	目標
①～⑥	上巻きを理解する	正しく上巻きができる
⑦～⑫	下巻きを理解する	正しく下巻きができる
⑬～	センターの配列を理解する	センターを30分で巻けるようになる
	バックサイド・サイドの配列を理解する	全頭を60分で巻けるようになる
	サイドパート・レンガ巻きをする	配列を変えても正しく巻けるようになる
		（１本1分⇨50秒⇨40秒⇨30秒）
	ボリューム・強さの関係などを理解する	ステムの角度の違いを理解し輪ゴムのかける位置など正しく覚える
	スパイラル・ツイストスパイラルを理解する	流行りの巻き方を覚える
～㉚	サロンスタイルを選びパーマをかける	カルテを書き想定したカールが出るように工夫する
期末試験	各項目ごとに実技試験	60点以上で合格
成績評価	学期末実技テスト並びに確認テストで瀬石評価をする	
履修上の注意	メモをとる事を必須とする	
その他		

授業科目名	理容実習シャンプー			開講年度	令和5年度
担当教員	金谷　健興　・　中条　政彦　・　中濱　美智子				
授業科目区分	必須	授業形態	実習	単位数	2単位
対象学年	2学年		開講学期	1学期～2学期	
履修条件	特になし		教員の実務経験の有無	有（4年以上）	
教科書・教材	理容道具一式				

授業の到達目標
①シャンプーの基本的な運行順序とブローテクニックを覚える
②触感技術としての相手に与える快適性を理解する
③シェービング⇨シャンプー⇨ブローの連動性を覚え、時間を支配し確実性を上げる

授業概要
触感技術として大切なシャンプー・マッサージ・を理解し、サロンワークの根本であるシェービング⇨シャンプー⇨ブローを正確にする。また、時間を支配し行えるようにすることで、卒業後に即戦力として活躍でき、スタイリストへの早道となる。

	授業内容	
回	授業内容	目標
1～	リアシャンプー	リアシャンプーのシステムを覚える
	スタンドシャンプー	スタンドシャンプーのシステムを覚える
	セットメニュー	シェービング⇨シャンプー⇨ブロー　40分以内を目指す
～60	セットメニュー	セットメニューを行いながら片付け洗濯等の雑用をこなす
成績評価	学期末実技テスト並びに確認テストで成績評価する	
履修上の注意	メモをとる事を必須とする	
その他		

授業科目名	理容実習トータルシェービング			開講年度	令和5年度
担当教員	金谷　健興　・　中条　政彦　・　中濱　美智子				
授業科目区分	必修	授業形態	実習	単位数	4単位
対象学年	2学年		開講学期	1学期～2学期	
履修条件	特になし		教員の実務経験の有無	有（4年以上）	
教科書・教材	理容用具一式				

授業の到達目標
①レディースシェービング特有のプロセスとハンドリングを覚える
②フェイシャルマッサージを覚え、肌のケアを理解する
③来客実習や美容科女子生徒の施術を行い実力をつける

授業概要
トータルシェービングとは、レディースシェービングにより生え際・眉の作り方・耳・鼻・襟足の剃り方を学び　スチーミングやマッサージ方法で女性のお客様の前処置・後処置を学び　肌のケアを目的としたシェービングを体験する。これを覚えることにより、より実践力が高められ就職後即戦力となる。

回	授業内容	
	授業内容	目標
1～	レディースシェービングの目的	2種類のレディースシェービングを理解する
	カウンセリング・お仕度をする	肌タイプ・男女の肌の違いを理解する
	女性の襟を剃る	日本伝統の三つ襟を作る
	女性の額を剃る	自然な富士額を作る
	女性のもみあげ・鼻・耳を剃る	
	女性の眉を作る	女性の顔　眉の黄金比を理解する
	お湯での2回剃りをする	対皮角度・対皮圧力・刃の速度を理解する
	事後処置	スチーミング・オイルマッサージ
		・パック・乳液・パウダー仕上げ
		総合技術を理解する
	トータルシェービング⇨リアシャンプー⇨ブロー	レディースシェービング・マッサージ45分⇨シャンプー・ブロー30分
～90	準備・片付けまでの工程	サロン業務を理解する

成績評価	学期末実技テスト並びに確認テストで成績を評価する
履修上の注意	メモをとる事を必須とする
その他	

授業科目名	理容実習カット(国家試験課題)			開講年度	令和5年度
担当教員	金谷　健興　・　中条　政彦　・　中濱　美智子				
授業科目区分	必須	授業形態	実習	単位数	10単位
対象学年	2学年		開講学期	1学期～3学期	
履修条件	特になし		教員の実務経験の有無	有（4年以上）	
教科書・教材	理容用具一式				

授業の到達目標
①ベーシックカット(ミディアムカット・ハーフロング・スクエアカット・ブロースカット)
②デザインカット(ブラントカット・チョップカット・セニングカット等)を用いてメンズスタイルを理解する
③人間モデルのカットが出来るようになる
④国家試験で高い完成度で合格し、卒業後1年以内でのスタイリスト昇格を目指す

授業概要
国家試験課題を奥深く学ぶことにより、国家試験合格を確実なものにする。理容のベーシックカットを幅広く学ぶことにより、技術力が向上したようなスタイルの提案ができるデザイン力の向上を図り、多様な応用力をもった理容師に育て上げる。

回	授業内容	
	授業内容	目標
1～	鋏の正しい持ち方	開閉の正確性を目指す
	正しい姿勢	正しい姿勢で疲れない体をつくる
	指間刈りを覚える	スクエアカットができる
	すくい刈りを覚える	すくい刈りでカットできる
	連続刈りを覚える	連続刈りでカットがきる
	固定刈りを覚える	固定刈りでカットできる
	固定刈り・連続刈り・すくい刈りの一連の動作を覚える	一体となった形でカットできる
	ベーシックカットを理解する	ミディアム・ハーフロング・ブロースをカットできる
	ヘアセットを理解する	ボンバージュセットができる
	デザインカットを理解する	マテリアルカット等の特殊なカット技法ができる
	セニングカットを理解する	毛量調整・質感調整ができる
	フリースタイルに挑戦する	自分自身でデザインし作成する
	TBBコンペティションに挑戦する	BARBER　STYLEを作成する
～300	国家試験課題を理解する	ミディアムカットを作成する
期末試験		

成績評価	学期末実技テスト並びに確認テストで成績評価をする
履修上の注意	メモをとる事を必須とする
その他	

授業科目名	基礎実習Ⅰ（ワインディング）			開講年度	令和5年度
担当教員	七沢　優子　・　今井　美里				
授業科目区分	必修	授業形態	実習	単位数	2単位
対象学年	2学年		開講学期	1学期	
履修条件	特になし		教員の実務経験の有無	有（4年以上）	
教科書・教材	美容理論Ⅰ、美容実習Ⅰ、ワインディング道具一式				

授業の到達目標
①美容道具の使用方法、取り扱いを理解する。
②実習時の注意点、準備・片付けの仕方を理解し、適切に取り組むことができる。
③道具の取り扱いを理解し、ワインディングの基礎がおおむねできるようになる。

授業概要
美容道具の使い方から学び、国家試験技術のワインディングの基礎を学び理解を深めることを目的とする。

評価基準・評価方法
各課題100点満点で60点以上を合格とする。採点基準は国試採点基準に準ずる。 （タイム以外）

回	授業内容
①②③	美容道具の名称や使い方
④⑤	美容道具の取り扱い方（準備・片付け・整理含む）
⑥⑦	ワインディング（ブロッキング）
⑧⑨	ワインディング（上巻き）
⑩～⑬	↓
⑭⑮	ワインディング（下巻き）
⑯～⑱	↓
⑲⑳	ワインディング（国家試験巻きセンター）
㉑㉒	↓
㉓～㉕	↓
㉖㉗	フロント、右バックサイド、サイド、右ネープ
㉘	左バックサイ、サイド、左サイド
㉙㉚	左バックサイ、サイド、左サイド
期末試験	

成績評価	100点満点で60点以上を合格とする。採点基準は国試採点基準に準ずる。追試、再試が設けられる。
履修上の注意	日頃から道具の整理整頓をしっかりおこなうこと。実習にふさわしい服装、髪型であること。２学期より習熟別になるため、自主的にトレーニングを行いましょう。
その他	メモ帳、筆記用具持参すること。

授業科目名	基礎実習Ⅰ（カット）			開講年度	令和5年度
担当教員	七沢　優子　・　今井　美里				
授業科目区分	必修	授業形態	実習	単位数	1単位
対象学年	1学年		開講学期・時限	1学期	
履修条件	特になし		教員の実務経験の有無	有（4年以上）	
教科書・教材	カット道具一式				

学習目標
カットの基礎技術を丁寧に学ぶことにより、理美容師としての第一歩を確実なものとする。 正しい姿勢と開閉を刈上げを通して学ぶことにより、今後のスタイルカットや国家試験課題 に対し適応する技術力を身につける。

到達目標
シザーズの正しい開閉を理解する
シザーズの開閉速度を上げる
シザーズとコームの運行に慣れる
正しい姿勢と立ち位置を理解する
骨格に対する引き出し方と角度を理解する
セニングシザーズを使い刈上げの反復練習を行い開閉と速度を確実なものにする
シザーズを使い刈上げと直鋏を行うことにより鋏と櫛を容易に操作できるようになる

評価基準・評価方法
正しく開閉出来ているか
正しい姿勢と立ち位置を理解出来ているか
鋏と櫛を容易に操作出来ているか

日時	授業内容
①	シザーズの持ち方と開閉の仕方
②	基本立ち位置と正しい姿勢
③	開閉練習
④	髪を切る感覚を覚える
⑤	引き出し角度を覚える
⑥	ガイドラインに沿って切ることを覚える
⑦	縦スライスでのカット技法を覚える
⑧	胸の前でのカット技法を覚える
⑨	引き上げてのカット技法を覚える
⑩	横スライスでのカット技法を覚える
⑪	セニングシザーズを使い連続刈りでの開閉練習
⑫	シザーズを使い連続刈りでの開閉練習
⑬	ウイッグ①を使い練習
⑭	ウイッグ②を使い練習
⑮	ウイッグ③を使い練習
期末試験	
成績評価	確認テストを行い、点数評価する

授業時間外学習	無し	履修上の注意	無し
関連科目	無し	自由質問時間	有り

授業科目名	基礎実習Ⅱ（カット・ワインディング）			開講年度	令和5年度
担当教員	七沢　優子　・　今井　美里				
授業科目区分	必修	授業形態	実習	単位数	3単位
対象学年	1学年		開講学期	2学期	
履修条件	特になし		教員の実務経験の有無	有（4年以上）	
教科書・教材	美容理論Ⅰ、美容実習Ⅰ、ワインディング道具一式、カット道具一式				

授業の到達目標
①美容道具を衛生的に使用できる。
②道具の取り扱いを理解し、手を早く動かし、ワインディングの基礎ができるようになる。
③道具の取り扱いを理解し、レイヤーカットの構成を理解し、基礎がおおむねできるようになる。

授業概要
美容道具をしっかり使い、国家試験技術のワインディングの採点項目を学び、タイムアップする。国家試験時術のレイヤーカットのこうせいを学ぶ。

評価基準・評価方法
各課題100点満点で60点以上を合格とする。採点基準は国試採点基準に準ずる。 （タイム以外）

回	授業内容
①～㉚	ワインディング（国家試験巻き） ↓
㉛～㊺	レイヤーカット（国家試験課題） ↓
期末試験	ワインディング（国家試験課題）
成績評価	100点満点で60点以上を合格とする。国試課題で全頭仕上げること。技術時間は習熟別で異なる。追試、再試が設けられる。
履修上の注意	日頃から道具の整理整頓をしっかりおこなうこと。実習にふさわしい服装、髪型であること。習熟別授業になるため、自主的にトレーニングを行いましょう。
その他	メモ帳、筆記用具持参すること。

授業科目名	基礎実習Ⅲ（カット・ワインディング）			開講年度	令和5年度
担当教員	七沢　優子　・　今井　美里				
授業科目区分	必修	授業形態	実習	単位数	1単位
対象学年	1学年		開講学期	3学期	
履修条件	特になし		教員の実務経験の有無	有（4年以上）	
教科書・教材	美容理論Ⅰ、美容実習Ⅰ、ワインディング道具一式、カット道具一式				

授業の到達目標
①美容道具を衛生的に使用できる。
②道具の取り扱いを理解し、手を早く動かし、国家試験レベルのワインディングができるようになる。
③道具の取り扱いを理解し、レイヤーカットの構成を理解し、基礎ができるようになる。

授業概要
美容道具の使い方から学び、国家試験技術のワインディングの基礎を学び理解を深めることを目的とする。

評価基準・評価方法
各課題100点満点で60点以上を合格とする。採点基準は国試採点基準に準ずる。 （タイム以外）

回	授業内容
①～	ワインディング（国家試験巻き）
⑧	↓
⑨～	レイヤーカット（国家試験課題）
⑮	↓
期末試験	国家試験課題

成績評価	100点満点で60点以上を合格とする。国試課題で全頭仕上げること。技術時間は習熟別で異なる。技術時間と国家試験基準で評価する。追試、再試が設けられる。
履修上の注意	日頃から道具の整理整頓をしっかりおこなうこと。実習にふさわしい服装、髪型であること。習熟別授業になるため、自主的にトレーニングを行いましょう。
その他	メモ帳、筆記用具持参すること。

授業科目名	美容一般（カラー）			開講年度	令和５年度
担当教員	今井　美里				
授業科目区分	必修	授業形態	実習	単位数	1単位
対象学年	1学年		開講学期	1学期	
履修条件	特になし		教員の実務経験の有無	有（4年以上）	
教科書・教材	新ヘアカラー入門、カラー道具一式、トレーニングクリーム（２回目のみカット道具）				

授業の到達目標
シングルスター検定実技課題ワンメイク塗布の習得

授業概要
カラー技術の理解、ウイッグで基本的なワンメイクの塗布の仕方を習得する。

回	授業内容
①	テーブルセッティング、諸説明
②	ウィッグ制作（ワンメイク）、道具の使い方
③	カラー技術の説明、ワンメイク中間毛先の塗布
④	ワンメイク中間毛先の塗布
⑤	〃
⑥	ワンメイク根元
⑦	〃　クロスチェック
⑧	〃
⑨	中間毛先、根元塗布復習
⑩	中間毛先、根元塗布、クロスチェック確認テスト
⑪	中間毛先、根元塗布、クロスチェック
⑫	〃
⑬	ワンメイク全頭
⑭	〃　テスト
⑮	〃　再試
成績評価	ウイッグにて段階的に審査
履修上の注意	特になし
その他	

授業科目名	美容一般（スタイリング）			開講年度	令和５年度
担当教員	今井　美里				
授業科目区分	必修	授業形態	実習	単位数	1単位
対象学年	1学年		開講学期	1学期	
履修条件	特になし		教員の実務経験の有無	有（4年以上）	
教科書・教材	美容理論Ⅰ、美容実習Ⅰ、スタイリング道具一式				

授業の到達目標
①スタイリングに必要な基礎技術ができる
②夜会巻きをつくることができる

授業概要
スタイリングの基礎技術の修得

評価基準・評価方法
基礎技術を用い夜会巻きをつくることができる

回	授業内容
①	ホットカーラー
②	ホットカーラー、一束
③	ホットカーラー、一束　テスト
④	一束、ブレイド
⑤	テキスト　スタイル04　作成
⑥	テキスト　スタイル04　全頭
⑦	テキスト　スタイル04　全頭
⑧	スタイル04　テスト
⑨	すき毛の作り方、ピン打ち
⑩	テキスト　スタイル05　作成（バック）
⑪	テキスト　スタイル05　作成（サイド、フロント）
⑫	スタイル05　全頭
⑬	スタイル05　全頭
⑭	スタイル05　全頭
⑮	スタイル05　テスト
成績評価	期末試験成績にて評価する
履修上の注意	なし
その他	なし

授業科目名	美容一般（シャンプー）			開講年度	令和5年度
担当教員	七沢　優子				
授業科目区分	必修	授業形態	実習	単位数	１単位
対象学年	１学年		開講学期	１学期	
履修条件	特になし		教員の実務経験の有無	有（4年以上）	
教科書・教材	美容理論１・シャンプー道具一式				

授業の到達目標
①接客用語を適切に使い、相モデルでのクロスかけができる。人体に触れることに慣れる。
②流し残しがなく全体を流すことができる。
③流れ（流し、泡立て、シャンプーの手つき）

授業概要
クロスかけやサイドシャンプーの基礎的技術を身に付ける

回	授業内容
①	シャンプー室の使用上の注意、セット面の準備の仕方、クロス掛けの仕方
②	ウィッグ・流し方の手順、シャワーヘッドの使い方・流しの基本姿勢の理解
③	〃
④	ウィッグ・流し、泡立て、シャンプーの手の動きの練習（両手全体洗い）
⑤	〃
⑥	ウィッグ・流し、泡立て、シャンプーの手の動きの練習（バック・フェイスライン）
⑦	〃
⑧	相モデル・流し、泡立て、ハンドブロー
⑨	〃
⑩	相モデル・流し、泡立て、シャンプーの手の動きの練習、ハンドブロー
⑪	〃
⑫	相モデル・流し、泡立て、シャンプーの手の動きの練習、ハンドブロー
⑬	〃
⑭	相モデル・流し、泡立て、シャンプーの手の動きの練習、ハンドブロー
⑮	〃
期末試験	⑭⑮
成績評価	期末試験成績によって評価する
履修上の注意	爪を必ず短く切ってくる。会話は敬語で行う。授業前には準備を終えておく
その他	シャンプートリートメント持ち込みは可能、但し、カラーシャンプー・カラートリートメントは不可

授業科目名	美容一般(メイク)			開講年度	令和5年度
担当教員	野本　義久　・　今井　美里				
授業科目区分	必修	授業形態	実習	単位数	1単位
対象学年	1学年		開講学期	1学期	
履修条件	なし		教員の実務経験の有無	有（4年以上）	
教科書・教材	メイク道具一式				

授業の到達目標
①メイクアップアイテムの正確な使用方法を理解し、安全に施術することができる ②各マーツの施術を正確に行うことができる ③メイクに関する基礎知識を理解する

授業概要
SBSメイク3級のトレーニングを通して、顔全体および各パーツに対する基本的なメイク施術をトレーニングする。SBSメイク検定3級合格を目指す。

回	授業内容
①	メイク技術理論、テーブルセッティング
②	メイクアップ理論と実技
③	チーク、ハイライト、シャドウ理論と実技
④	修正メイクアップとスキントラブル理論、アイシャドウ理論と実技
⑤	アイブロウ理論と実技
⑥	アイシャドウ、アイライン理論と実技
⑦	アイラッシュカーラー、マスカラ理論と実技
⑧	つけまつ毛理論と実技
⑨	リップ理論と実技
⑩	フルメイク①
⑪	フルメイク②
⑫	フルメイク③
⑬	フルメイク④
⑭	SBSメイク検定3級(学科)
⑮	SBSメイク検定3級(実技)
成績評価	SBSメイク検定3級にて評価する
履修上の注意	まつ毛エクステンション、まつげパーマは外しておくこと。
その他	なし

授業科目名	美容一般（エステ）			開講年度	令和５年度
担当教員	今井　美里				
授業科目区分	必修	授業形態	実習	単位数	１単位
対象学年	１学年		開講学期	1学期	
履修条件	特になし		教員の実務経験の有無	有（4年以上）	
教科書・教材	エステ道具一式				

授業の到達目標
エステの基礎技術の習得を通して、人に触れることに慣れ、気配り、心遣いを身につける。道具や自身の衛生に気をつける。

授業概要
エステティックに関する基礎知識、技術を学び、習得を通して人に触れること、人に対する心配り、気遣いなどを身につける。また、肌に直接触れる手指や道具を清潔に保ち、衛生に対する意識を習慣化する。

回	授業内容
①	エステティック概論、皮膚の生理と構造について知る
②	カウンセリング、マッサージ理論、衛生と消毒について知る
③	ポイントクレンジングから拭き取りまでの手順を知る
④	マッサージの手順を知る
⑤	ポイントクレンジングからマスク拭き取り、仕上げまでを知る
⑥	ポイントクレンジングから仕上げまで相モデルで行うことができるかチェックをする
⑦	エステ道具の準備の仕方、注意点、消毒の仕方、モデルの準備を知る
⑧⑨	モデルに配慮しながらポイントクレンジングから仕上げまで行う
⑩⑪	準備から仕上げまで全体を通して行い、モデルへの配慮と時間を意識して行う
⑫⑬	準備から仕上げまで全体を通して行い、時間内に全ての工程を行う
⑭⑮	実技試験
成績評価	実技試験にて評価する。技術の習得、モデルへの心配り、気遣い、衛生面への意識ができているかを確認する。追試、再試は授業外の時間（放課後もしくは補講期間）にて行う。
履修上の注意	髪の毛が顔にかかる人は、かからないようにする。爪を短くする。
その他	特になし

授業科目名	美容一般（ネイル）			開講年度	令和5年度
担当教員	今井　美里　・　阿部　英恵				
授業科目区分	必修	授業形態	実習	単位数	1単位
対象学年	1学年		開講学期・時限	1学期	
履修条件	特になし		教員の実務経験の有無	有（4年以上）	
教科書・教材	ネイル道具一式				

授業のねらいとカリキュラム上の位置づけ（学習目標）
ネイルの基礎技術の修得

到達目標
①マニキュアに関する技術の工程を正確に行うことができる
②ネイルに関する知識の修得

評価基準・評価方法
ケア、カラーリングを安全に施術することができる（期末試験で評価）
各器具の正しく安全な取り扱いができる（期末試験で評価）

回	授業内容
①	ネイル技術概論、テーブルセッティング
②	ネイル学、ネイル技術
③	ネイル学、マニキュア（ネイルシェープ）
④	公衆衛生、マニキュア（ファイリング）
⑤	カウンセリング、マニキュア（キューティクル処理）
⑥	マニキュア（カラーリング）
⑦	マニキュア（カラーリング）
⑧	マニキュア（全工程）①
⑨	マニキュア（全工程）①
⑩	マニキュア（全工程）②
⑪	マニキュア（全工程）②
⑫	マニキュア（全工程）③
⑬	マニキュア（全工程）③
⑭	試験
⑮	試験
期末試験	⑭⑮

成績評価	期末試験成績にて評価する		
授業時間外学習	無し	履修上の注意	無し
関連科目	無し	自由質問時間	有り

授業科目名	美容一般　まつエク・着付け			開講年度	令和５年度
担当教員	七沢　優子				
授業科目区分	必須	授業形態	演習	単位数	1
対象学年	１年		開講学期	１学期	
履修条件			教員の実務経験の有無	有（4年以上）	
教科書・教材	まつ毛エクステンション道具一式、理論２、実習２、ＳＢＳ着付けテキスト				

授業の到達目標
まつ毛エクステンションの基礎技術を知る 和装の基本的知識を理解し、ＳＢＳ着付けディレクター3級検定を受験する

授業概要
まつ毛エクステンションの基礎技術を知る
①準備の仕方・着物のたたみ方
②着物の知識（各部の名称）
③浴衣の着付けができる（SBS着付けディレクター３級合格基準）

回	授業内容
①	まつ毛エクステンション概論、用具について
②	道具の使い方、基礎練習（ツイーザー）
③	道具の使い方、基礎練習（掻き分け、装着）
④	道具の使い方、基礎練習（テーピング）
⑤	まつ毛エクステンションの装着
⑥	SBS着付け３級（浴衣）検定説明
⑦	準備確認、体形補整の仕方、たたみ方
⑧	準備・補整・浴衣の着付け（帯以外）
⑨	〃
⑩	浴衣の着付け（帯まで）
⑪	〃
⑫	準備・補整・浴衣の着付け（帯まで）
⑬	〃
⑭	学科対策・模擬テスト
⑮	SBS着付け３級（浴衣）検定
期末試験	学科30分、準備10分、着付け（浴衣）20分
成績評価	SBS着付け3級（浴衣）検定基準に準ずる
履修上の注意	着付け時:爪（フラットで短く）、アクセサリー類は外す(ピアスは小ぶりの引っかからないもの耳たぶ1つのみ)
その他	着付け時タオル4枚、風呂敷を持参

授業科目名	基礎実習（美容師免許取得コース）			開講年度	令和5年度
担当教員	七沢　優子　・　上野　裕美子　・　今井　美里　・　佐藤　美咲				
授業科目区分	選択必修	授業形態	実習	単位数	14単位
対象学年	2学年		開講学期	1・2・3学期	
履修条件	特になし		教員の実務経験の有無	有（4年以上）	
教科書・教材	理論、実習テキスト、実習道具一式				

授業の到達目標
国家試験課題カット、ワインディング、オールウエーブセッティングの構成を理解し、適切な用具の取扱い、姿勢にて技術の習熟をはかる（国家試験の採点項目のクリアを目標とする）

授業概要
ワインディングでは、正確なブロッキングを行い、左右対称、ロッドの浮きなど国家試験合格基準に達するよう正確に美しく、時間管理を行って作品を仕上げるトレーニングを行う。カットは、レイヤーカットの特徴を理解し、正しい姿勢、開閉にて正確なカットを行う。オールウエーブセッティングでは、ウエーブ構成を理解し、フィンガーウエーブと国試課題の4つのカールを正確につなぐようにする。コームの運行、姿勢など正しく理解する。

回	授業内容
①～⑮	ワインディング課題のポイント、注意点の理解とトレーニング
⑯～㉚	レイヤーカットの理解とブロックごとのカット
㉛～60	オールウエーブセッティングの構成の理解と各カールを的確につくる。
61～180	各課題の国家試験基準に応じたトレーニング
181～240	国試シュミレーションによるトレーニング
成績評価	各課題100点満点で60点以上を合格とする。採点基準は国試採点基準に準ずる。課題ごとに追試、再試が設けられるが、各学期、各課題の平均による総合点が評価点となる。
履修上の注意	日頃から道具の整理整頓をしっかりおこなうこと。実習にふさわしい服装、髪型であること。10月の中間試験にて、卒業見込が認定されるか判定がなされるため、自主的にトレーニングを行い、それまでに合格が見込まれる技術を身につけるよう努力する。
その他	メモ帳、筆記用具持参すること。